

# 各常任委員会 県外研修 各議員のレポート

議会には、総務常任委員会、民生常任委員会、文教常任委員会、産業建設常任委員会と4つの常任委員会があり、継続的に所管事務調査や研修・審議などを行っています。今回は、1月末から2月初旬にかけて、県外研修を実施しました。日本共産党議員のレポートです。(実施した順)

予算議会 代表質問に山岡議員 一般質問に安井・小松・小西議員

ぜひ議会傍聴を

## 産業建設常任委員会 (山岡光広議員)



耕作放棄田を活用して牛の放牧を行っている現場を視察  
(2010年1月29日、岡山県高梁市で)

## 鳥獣害対策(兵庫県三田市)と耕作放棄田の有効活用(岡山県高梁市)

産業建設常任委員会は、1月28日と29日、鳥獣害対策で兵庫県三田市へ、耕作放棄田の有効活用で岡山県高梁市へ行きました。三田市では意外にもサルの捕獲がゼロですが、ヌートリアやアライグマが急増し田畑や農作物の被害も深刻で、「防除計画」も策定、市独自の施策も含めて総合的な対策に取り組んでいます。特に市民・地域が共同して取り組んでいるのが特徴です。一方、岡山県の中西部に位置する高梁市は、耕作放棄田が1416軒もあり、そのうち888軒は、機械を使っても「農地に戻らない地域」。そこで、耕作放棄田に牛を放牧、「体験田舎暮らし」などの取組で、農業再生と定住を促進しています。

## 総務常任委員会 (安井直明議員)



安芸高田市で振興会の取組を聞く総務常任委員会  
(2010年2月4日)

## 自治振興会の先進地へ(広島県安芸高田市・島根県雲南市)

甲賀市で計画の「自治振興会」の研修に総務常任委員会は2月4と5日、すでに実施している広島県安芸高田市と、島根県雲南市へ行政視察を実施しました。いずれも面積が甲賀市よりも大きく、人口は3万・4万人と過疎化・高齢化が進んでおり、このままでは地域が無くなっていくと必死の思いで住民自らが取り組んで振興会を作っています。設立は、昭和38年からと歴史あるところや合併を機につくられたところもあります。雲南市海潮地区では、田舎暮らし体験ツアーや、Uターン呼びかけ交流事業、子育て支援として児童保育所の運営など内容も多種多様でした。

## 文教常任委員会 (小松正人議員)



新見市から学校統廃合問題で実情を聞く文教常任委員会  
(2010年2月8日)

## 小中学校の統廃合(岡山県新見市・香川県さぬき市)

文教常任委員会は2月8日と9日、小中学校の統廃合問題で、岡山県新見市と香川県さぬき市を視察に行きました。新見市は、平成17年3月に1市4町が合併。今年4月には、小学校23校を17校に、中学校8校を6校に統廃合。スクールバス等15路線で送迎する計画ですが、私の郷里の千屋の生徒は25分下流の学校に片道50分かけて通学しなければならず、クラブ活動も制限されるとの声も聞かれました。さぬき市も平成14年4月に5町が合併。ここでも29年度までに小学校14校と1分校を6校に、中学校は6校を4校に統廃合する計画ですが、地域住民との合意が大きな課題となっています。

## 民生常任委員会 (小西喜代次議員)



市立宇和島病院の屋上で実情を聞く民生常任委員会  
(2010年2月9日)

## 介護予防(香川県丸亀市)と公立病院移転事業(愛媛県宇和島市)

民生常任委員会は2月8日、香川県丸亀市を訪れ介護予防コミュニティモデル事業を、また9日には愛媛県宇和島市の市立病院改築事業を視察しました。丸亀市では、認知症をテーマにコミュニティ(小学校区)単位のネットワークづくりが目的で、20年度に3か所のモデル地域からスタートし、初年度の成果として介護予防の地域連携が進んでいるとのこと。地域包括支援センターが中心的役割を担っているのが特徴的でした。宇和島市民病院では、他に民間2病院がある中で、市立3病院の拠点病院として、不採算部門や3次救急への積極的な対応など、公立病院の役割を重視していることが印象的でした。